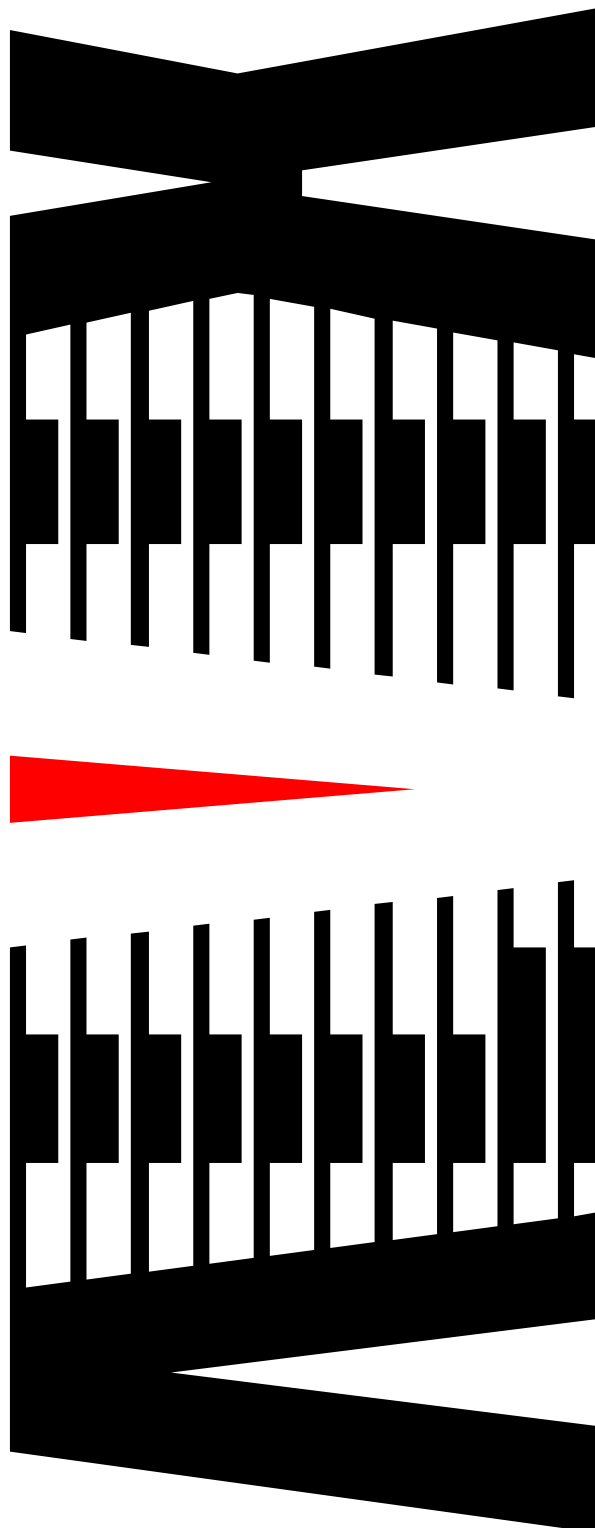


# “アルビクス” SCTE104 splice request インサータ

SRI-112

取扱説明書

Ver.1.2



御使用前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、  
安全の為の指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

## 目 次

	ページ
御使用上の注意事項 .....	1
1. 主な機能と特徴 .....	2
2. 仕様 .....	3
3. 各部の名称と機能 .....	5
4. Webブラウザによる設定 .....	7
4 - 1 ログイン .....	7
4 - 2 インサート設定 .....	8
4 - 3 通知マスク設定 .....	11
4 - 4 Trap 先 IP アドレス設定 .....	12
4 - 5 時刻調整 .....	13
4 - 6 ネットワーク設定 .....	15

## 御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

### 警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としたり、してはいけません。（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 発煙、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

### 注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。  
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。  
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。  
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。  
（火災や感電の原因となります。）

### お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。  
（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。  
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具に近い所、埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所  
（故障の原因となります。）

## 1. 主な機能と特徴

---

- ◇HD-SDI 信号に SCTE104 の splice\_request 信号を重畳する装置です。
- ◇入力の無電圧接点入力、または ARIB STD-B39 のトリガ信号を読み取り、splice\_request 信号に反映します。
- ◇SCTE104 信号インサートの状態遷移を、SNMP で外部通知します。

## 2. 仕様

---

- ◆入力信号
  - 入力信号数 : 1 系統
  - 信号形式 : HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz]
  - 入力接栓 : BNC コネクタ
  
- ◆SCTE104 インサート出力信号
  - 出力信号数 : 2 系統
  - 信号形式 : HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz]
  - 出力接栓 : BNC コネクタ
  - 入出力位相 : 内部処理による入出力遅延を有します。(11Line)
  - その他 : 1 系統は、電源断時にリレーでバイパススルーします。  
入力信号がない場合は出力されません。
  
- ◆バッファスルー出力信号
  - 出力信号数 : 1 系統
  
- ◆無電圧接点入力
  - 接点制御 : Splice Start 及び Splice End を下記のいずれかで制御します。
    - ①ステートモード : Start、End を1 接点で指定します。  
クローズエッジ = Start、オープンエッジ = End
    - ②エッジモード : Start、End を個別接点で指定します。  
クローズエッジを各々のトリガタイミングとします。
    - ③デュレーションモード : Start を TAKE 接点と Duration 接点  
で指定します。Duration 接点で Duration を選択します。  
TAKE 接点のクローズエッジ = Start  
※Duration 接点の重複クローズは禁止です。
  - 入力回路 : 内部電源 +5V に 5.1kΩ でプルアップ (フォトカプラ受け)
  
- ◆無電圧接点出力
  - Splice 状態接点出力 : 重畳した SCTE104 信号を読み取り、Splice 状態を出力します。  
(Splice 中 = クローズ)
  - 接点容量 : 10mA
  
- ◆接点入出力接栓 : D-sub 25pin female (嵌合ネジ M2.6)
  
- ◆ARIB STD-B39
  - トリガ指定 : トリガは、ARIB STD-B39 のワード番号、ビット番号を任意に設定します。Splice Start 及び Splice End を下記のいずれかで制御します。
    - ①ステートモード : Start、End を1 つのトリガで指定します。  
トリガが0 から1 に遷移したエッジ = Start  
トリガが1 から0 に遷移したエッジ = End
    - ②エッジモード : Start、End を個別トリガで指定します。  
トリガが0 から1 に遷移したエッジを各々のトリガタイミングとします。
    - ③デュレーションモード : Start を各々のトリガで指定します。  
トリガは 12 個選択可能で、それぞれの Duration を個別に設定  
できます。  
※トリガの重複は禁止です。

- ◆SCTE104 対応 opID
  - START : splice\_request\_data()
    - spliceStart\_normal または spliceStart\_immediate
  - END : splice\_request\_data()
    - spliceEnd\_normal または spliceEnd\_immediate
  - その他 : alive\_request\_data()
  
- ◆SCTE104 信号重畳
  - 重畳位置 : 第 11~18 ラインまたは第 573~581 ラインを指定可能です。
  - 重畳タイミング : 接点または ARIB STD-B39 のトリガ信号検出直後のフィールド
  
- ◆外部通信
  - 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インターフェース
  - プロトコル : HTTP (本体設定)
    - SNMP (状態遷移外部通知)
  - コネクタ : RJ-45 モジュラ
  
- ◆電源
  - 電源電圧 : 100V AC ±5%
  - 消費電力 : 25W
  
- ◆使用温度範囲 : 5°C ~ +40°C (結露なきこと)
  
- ◆外形寸法 : H43mm × W215mm × D300mm  
(1U ハーフサイズ)

### 3. 各部の名称と機能

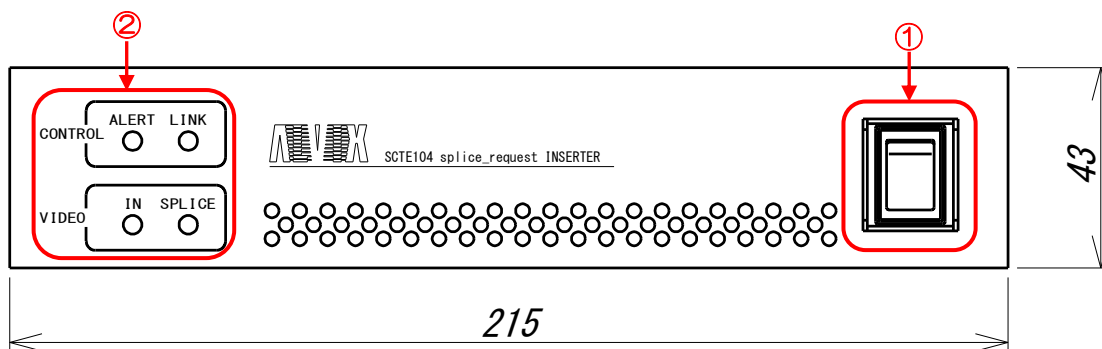


図 3.1 フロント外観図

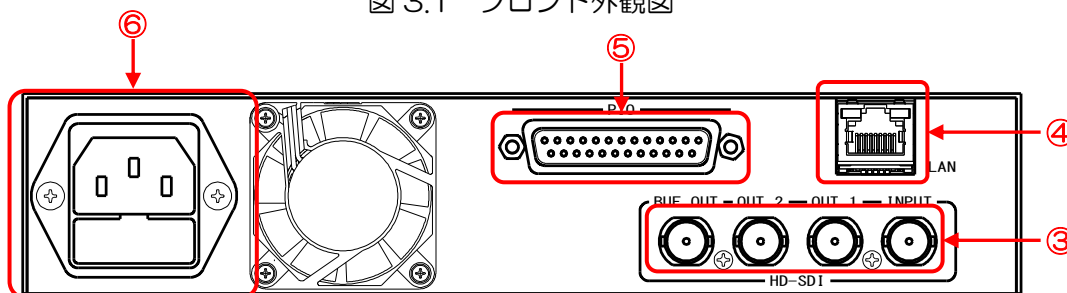


図 3.2 リア外観図

#### ①電源スイッチ

本機器の電源 ON/OFF を行います。

#### ②ステータス LED

ALERT : 入力信号断時、及び電源電圧異常検知時に、赤に点灯します。

LINK : LAN 通信時に点灯します。

IN : 【電源投入直後】  
赤に点灯後、緑／赤の点滅に続いて入力状態表示を行います。

##### 【入力状態表示】

赤点滅 : 入力なし

緑点灯 : HD 入力

SPLICE : Splice 中、緑に点灯します。

#### ③信号入出力

INPUT : SCTE104 信号を重畳する信号を入力します。

OUT1 : SCTE104 信号が重畳された信号が出力されます。  
本機器電源 OFF 時にはリレースルーされた入力信号が出力されます。

OUT2 : SCTE104 信号が重畳された信号が出力されます。  
本機器電源 OFF 時には信号を出力しません。

BUF OUT : 入力された信号がバッファを介して出力されます。  
SCTE104 信号は重畳されません。  
本機器電源 OFF 時には信号を出力しません。

#### ④LAN

通信制御用の LAN インターフェースコネクタです。

⑤PIO

Splice の接点制御、ならびに Splice 状態の出力を行います。  
 ピンアサインは以下のとおりです。

	ステートモード	エッジモード	デュレーションモード
1	Start/End	Start	Take
2	—	End	Duration 設定 1
3	—	—	Duration 設定 2
4	—	—	Duration 設定 3
5	—	—	Duration 設定 4
6	—	—	Duration 設定 5
7	—	—	Duration 設定 6
8	—	—	Duration 設定 7
9	—	—	Duration 設定 8
10	—	—	Duration 設定 9
11	—	—	Duration 設定 10
12	—	—	Duration 設定 11
13	—	—	Duration 設定 12
14	Splice 状態接点出力 (Splice 中=クローズ)		
15			
16	—		
17	—		
18	—		
19	—		
20	—		
21	—		
22	COM		
23	COM		
24	FG		
25	FG		

表 3 D-sub 25pin ピンアサイン

⑥AC 入力

本機器の電源入力 (3P インレット) です。



## 4. Webブラウザによる設定

◇本装置はWebブラウザを使用し、インサート設定、時刻設定、ネットワーク設定等を行うことができます。

### 4-1 ログイン

◇装置の設定画面を開きます。

- (1) インターネットエクスプローラーを起動し、アクセスしたい機器のIPアドレスを入力します。

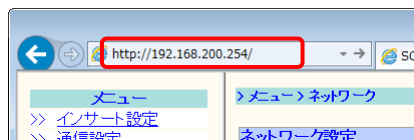


図 4.1.1 URL 入力

- (2) メイン画面が表示されます。

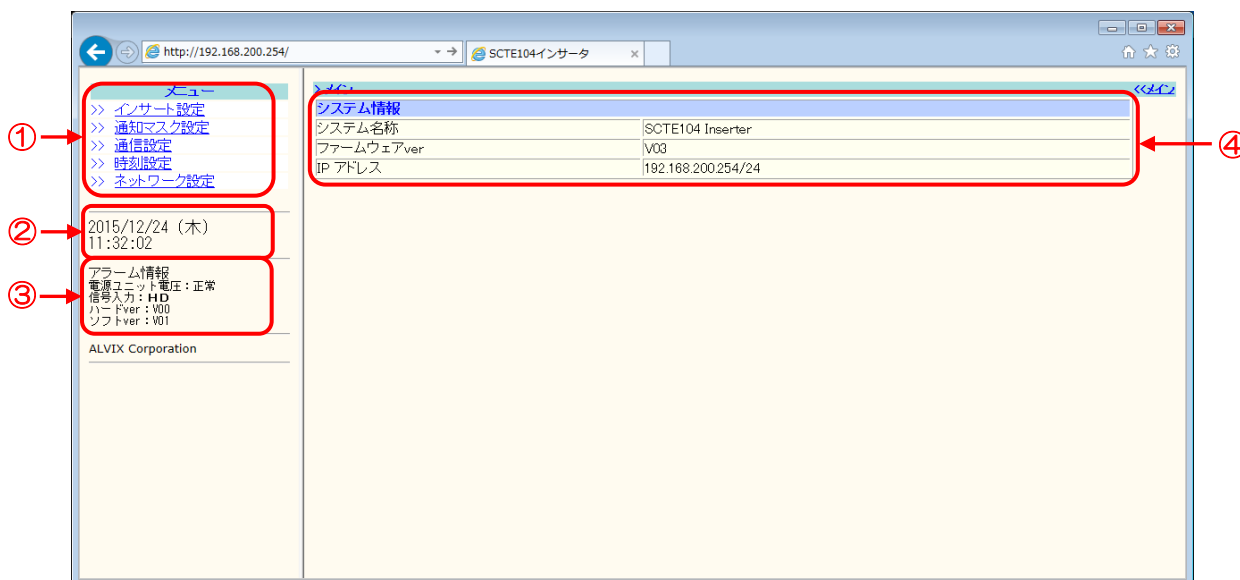


図 4.1.2 メイン画面

- ① メニュー
  - ◆インサート設定 . . . インサートの各種設定を行います。
  - ◆通信設定 . . . Trap 先 IP アドレスの設定を行います。
  - ◆時刻設定 . . . 機器の時刻設定を行います。
  - ◆ネットワーク設定 . . . 機器の IP アドレスの設定を行います。
- ② 時刻表示
  - ◆メニュー下の時刻はアクセス中の機器の時刻です。
  - ◆時刻は5秒ごとに装置と同期を行っています。
- ③ アラーム情報
  - ◆アラーム情報を表示します。
  - ◆5秒ごとに装置と同期を行っています。
- ④ システム情報
  - ◆機器のシステム名称、ファームウェアバージョン、IP アドレスを表示します。

## 4-2 インサート設定

◇インサートの各種設定を行うことができます。

(1) メニューより「インサート設定」をクリックしてください。

Duration設定	無効/有効	Break Duration 設定 (1.0~3600.0 秒)	トリガ信号のNetQ位置 ワード番号 (1~248) ビット番号 (0~7)
Duration設定 1	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β1 0
Duration設定 2	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β1 1
Duration設定 3	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β1 2
Duration設定 4	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β1 3
Duration設定 5	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β1 4
Duration設定 6	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β1 5
Duration設定 7	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β1 6
Duration設定 8	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β1 7
Duration設定 9	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β2 0
Duration設定 10	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β2 1
Duration設定 11	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β2 2
Duration設定 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	1.0	β2 3

図 4.2 インサート設定

(2) インサートの各種設定を行います。

(2) -1 モード設定

① インサート無効/有効

◆SCTE104 信号のインサート有無を設定できます。

② トリガソース選択

◆トリガ情報の入力元を「接点」「NetQ」から選択できます。

③ トリガ種別選択

◆トリガソース選択で「接点」を選択した時に、トリガの種別を「ステート」「クローズエッジ」から選択できます。

④ インサート種別

◆インサート種別を「Immediate」「Normal」から選択できます。

- ⑤ Duration モード
  - ◆Duration の OFF/ON を設定できます。
- ⑥ Alive Request 重畳間隔
  - ◆alive\_request\_data() を重畳する間隔を設定できます。
  - ◆設定範囲は 0~600 (秒) です。
  - ◆0 を設定した場合、alive\_request\_data() は重畳しません。

## (2) -2 インサート設定

- ① 信号インサートライン A
  - ◆SCTE104 信号の重畳位置を設定できます。
  - ◆設定範囲は 11~18 (ライン) です。
- ② 信号重畳ライン B
  - ◆SCTE104 信号の重畳位置を設定できます。
  - ◆設定範囲は 573~581 (ライン) です。
- ③ プリロールタイム (Start/End)
  - ◆インサート種別で「Normal」を選択している時のプリロールタイムを設定できます。プリロールタイム (End) は、Duration モードが「OFF」の時のみ指定できます。
  - ◆開始時 (Start) と終了時 (End) で個別に設定できます。
  - ◆設定範囲は 0.000~10.000 (秒) です。
  - ◆Start ≤ End となるように設定してください。
- ④ 開始信号の NetQ 位置 (ワード番号/ビット番号)
  - ◆Duration モードが「OFF」、トリガソース選択が「NetQ」を選択している場合に開始トリガ信号の位置を設定できます。
  - ◆設定範囲は、ワード番号：1~248、ビット番号：0~7 です。
  - ◆終了信号の NetQ 位置と全く同じワード番号/ビット番号は設定できません。
- ⑤ 終了信号の NetQ 位置 (ワード番号/ビット番号)
  - ◆Duration モードが「OFF」、トリガソース選択が「NetQ」、トリガ種別選択が「クローズエッジ」を選択している場合に終了トリガ信号の位置を設定できます。
  - ◆設定範囲は、ワード番号：1~248、ビット番号：0~7 です。
  - ◆開始信号の NetQ 位置と全く同じワード番号/ビット番号は設定できません。
- ⑥ ID インクリメント設定
  - ◆splice\_event\_id と unique\_program\_id の値を、Splice イベントに合わせてインクリメントして設定するかどうか選択できます。
    - ・ Event ID と Program ID は固定値
      - ⇒ splice\_event\_id と unique\_program\_id は、Splice Event ID 設定、Unique Program ID 設定の固定値で指定する値となります。
    - ・ Event ID のみインクリメント (Program ID は固定値)
      - ⇒ splice\_event\_id は、Splice イベント毎にインクリメントした値を装置が設定します。Splice Event ID 設定の固定値は無視されます。unique\_program\_id は、Unique Program ID 設定の固定値で指定する値となります。

- ・ Event ID と Program ID をインクリメント  
⇒ splice\_event\_id と unique\_program\_id は、Splice イベント毎にインクリメントした値を装置が設定します。Splice Event ID 設定と Unique Program ID 設定の固定値は無視されます。

⑦ Splice Event ID 固定値設定

- ◆splice\_event\_id を設定できます。
- ◆Splice Event ID 設定で固定値を選択している場合のみ設定できます。
- ◆値は16進数4バイトで設定してください。

⑧ Unique Program ID 固定値設定

- ◆unique\_program\_id を設定できます。
- ◆Unique Program ID 設定で固定値を選択している場合のみ設定できます。
- ◆値は16進数2バイトで設定してください。

⑨ Auto Return Flag 固定値設定

- ◆auto\_return\_flag の値を設定できます。
- ◆値は0x01～0x0Fの範囲で、16進数1バイトで設定してください。

(2) -3 Duration 設定

① Duration 設定 無効/有効

- ◆個別に Duration 設定の無効/有効を設定できます。

② Break Duration 設定

- ◆Duration モードが「ON」で、Duration 設定が「有効」の場合に Duration 時間を設定できます。
- ◆設定範囲は1.0～3600.0（秒）です。

③ トリガ信号の NetQ 位置（ワード番号/ビット番号）

- ◆Duration モードが「ON」、Duration 設定が「有効」、トリガソース選択で「NetQ」を設定している場合にトリガ信号の NetQ 位置を設定できます。
- ◆設定範囲は、ワード番号：1～248、ビット番号：0～7です。
- ◆他の Duration 設定のトリガ信号の NetQ 位置と全く同じワード番号/ビット番号は設定できません。

(3) 設定の変更が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。

## 4-3 通知マスク設定

◇装置の状態を Trap 通知する／しないを設定することができます。

(1) メニューより「通知マスク設定」をクリックしてください。

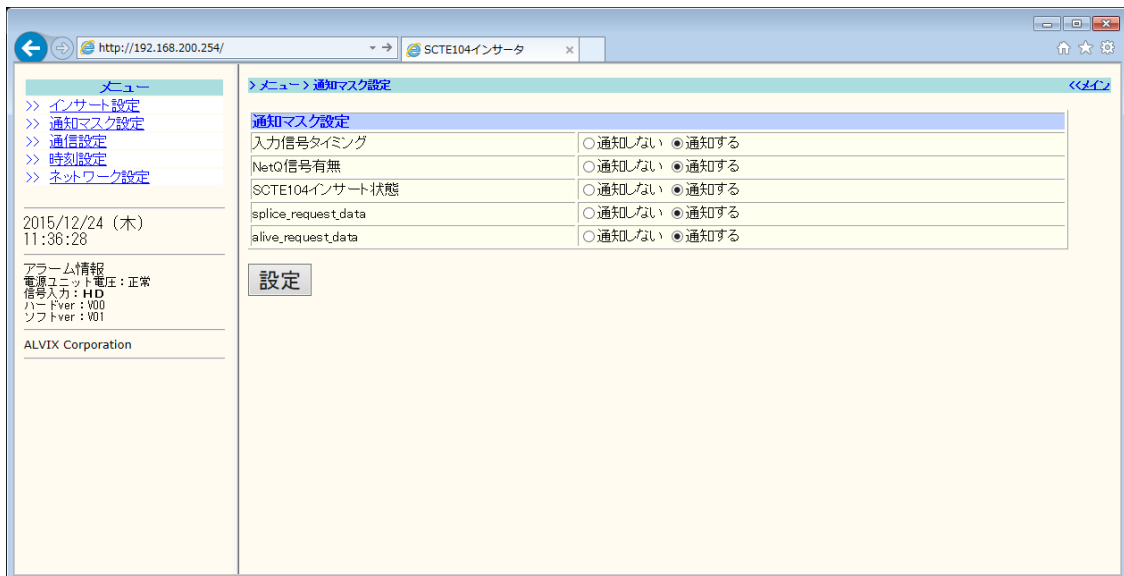


図 4.3 通信設定

(2) Trap 通知する／しないの設定を行います。

(3) 設定の変更が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。

## 4 - 4 Trap 先 IP アドレス設定

◇Trap 通知先を設定することができます。

(1) メニューより「通信設定」をクリックしてください。

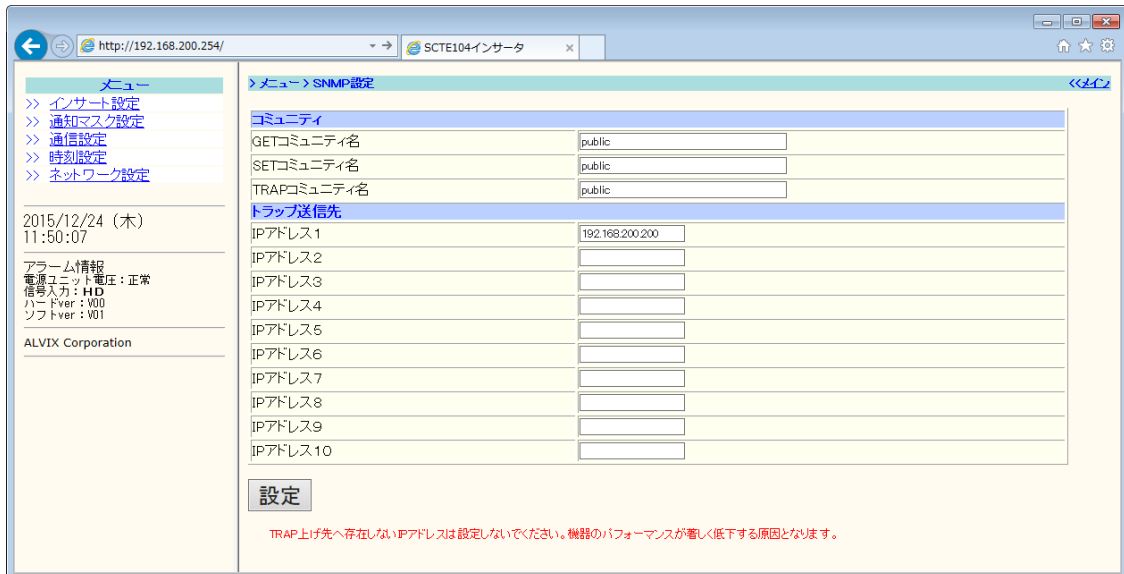


図 4.3 通信設定

(2) Trap 送信先 IP アドレスを設定します。

Trap 先 IP アドレスは最大 10 箇所まで指定可能です。

Trap 先 IP アドレスは、ネットワーク上に存在しないアドレスは設定しないでください。機器の通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。

(3) 設定の変更が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。

## 4-5 時刻調整

◇機器の時刻を設定できます。

(1) メニューより「時刻設定」をクリックしてください。

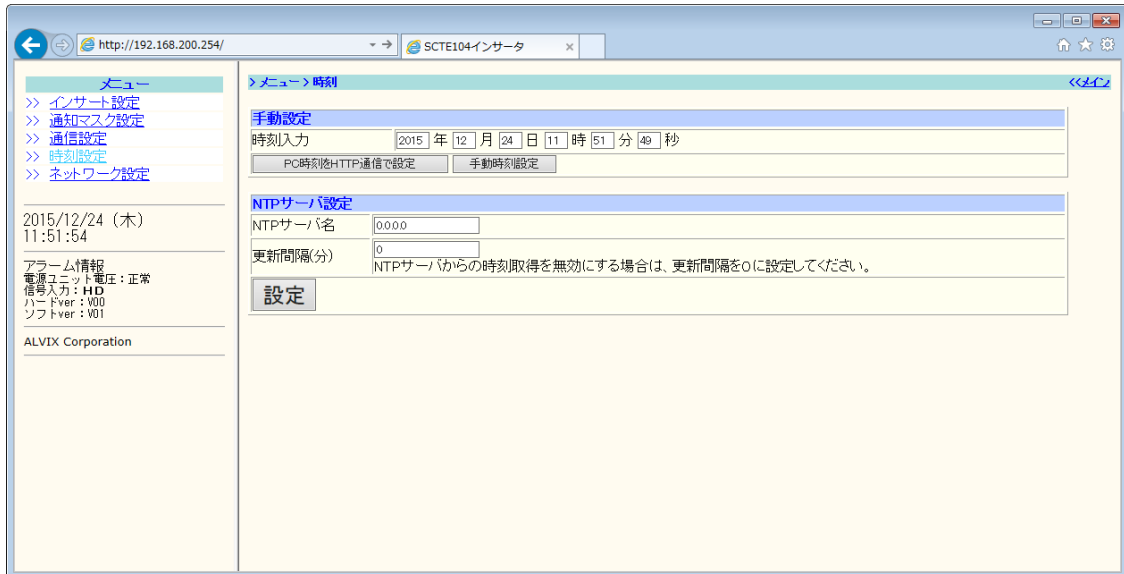


図 4.4.1 時刻設定

(1) 時刻の設定方法を選択してください。

① PC時刻をHTTP通信で設定

・・・ 接続しているパソコンの時刻を設定します。

をクリックすると、時刻を設定します。

② 手動時刻設定

・・・ 入力された時刻を設定します。

任意の時刻を入力後、 をクリックしてください。

(2) NTPサーバ設定を行うことで、NTPサーバとの時刻同期を行うことができます。

① NTPサーバ名

◆NTPサーバのIPアドレスを入力してください。

◆「0.0.0.0」を設定した場合、時刻同期は無効となります。

② 更新間隔

◆NTPサーバへアクセスする間隔を指定します。

◆設定範囲は0～9999（分）です。

◆0（分）を設定した場合、時刻同期は無効となります。

③ 設定の変更が終わったら、 ボタンをクリックしてください。確認メッセージが表示され、設定が有効になります。



図 4.4.2 確認メッセージ (NTP 設定)



## 4-6 ネットワーク設定

◇機器のIPアドレス、ゲートウェイ等の変更ができます。

(1) メニューより「ネットワーク設定」をクリックしてください。

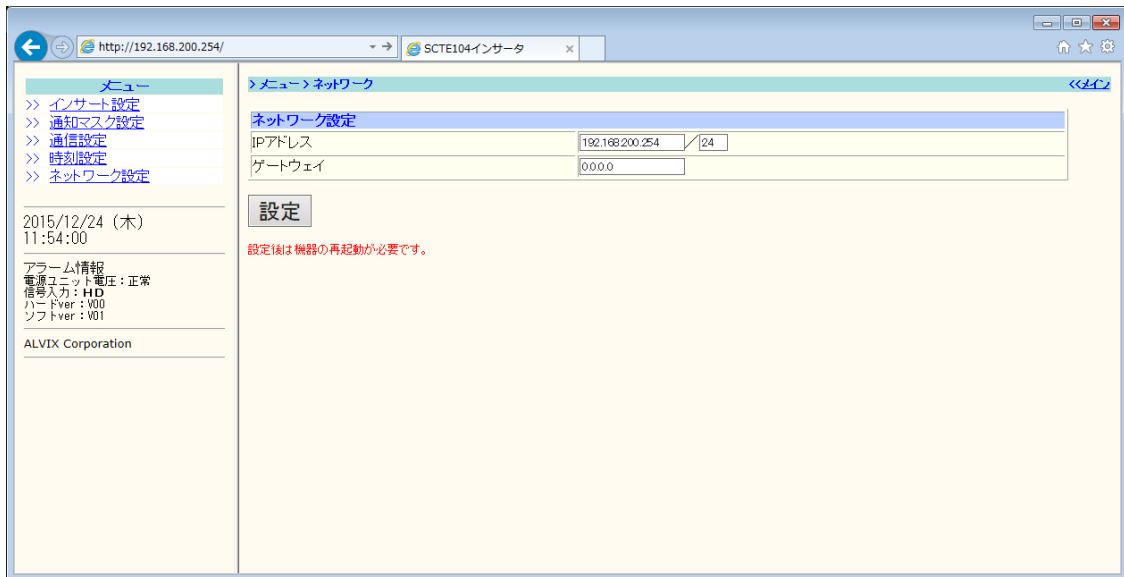


図 4.5.1 ネットワーク設定

(2) 変更したいIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。

(3) 設定の変更が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。  
確認メッセージが表示されます。

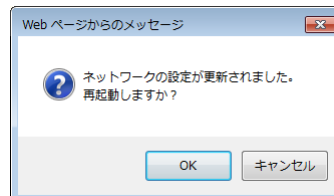


図 4.5.2 確認メッセージ（ネットワーク設定）

(4) **OK** ボタンをクリックして、機器を再起動してください。  
確認メッセージが表示されます。

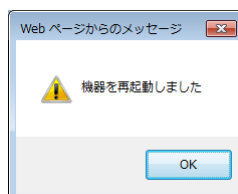


図 4.5.3 確認メッセージ（再起動）

(5) ブラウザに新しいIPアドレスを入力し、再ログインしてください。

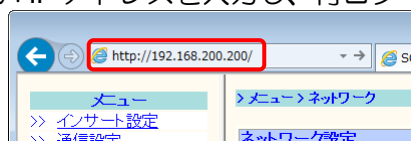


図 4.5.4 URL 入力

## お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL  
担 当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038